

こころ育てる絵本との出会い

マカちゃん通信

2010 12 - 2011 1 vol.

5

絵本原画展

かすや 昌宏

特集

絵本を贈る



かすや昌宏



自分だけの花を、美しく咲かせて：
いのちを見つめ、いのちを描く
光と色彩揺らめく
夢幻のファンタジーワールド

かすや昌宏（かすやまさひろ）プロフィール

1937年、兵庫県に生まれる。上京後、児童演劇の美術演出活動をする。

1970年、至光社及びフランスのcerfより、絵本『ちいさな はらっぱ』（文・渡 洋子）が出版される。その後の主な絵本作品『くつやのまるちん』『ひかりがいている』（文・渡 洋子）、『ふしぎなおんがく』（自著）以上（至光社）、『ほしのふるもり』（文・渡 洋子）、『ごんぎつね』（原作・新美南吉）以上（あすなろ書房）。

1978年、『のあのはこぶね』（文・佐久間 彪／至光社）で、ボローニャ国際児童図書展批評家賞受賞。海外でも多くの絵本が出版されている。



本文25ページ



本文17ページ



表紙

『てんしとくつやさん』（至光社）

原画展示絵本

平成22年12月1日（水）～
平成23年1月30日（日）

絵本原画展開催

本展では、『ありがとうサンタさん』『てんしとくつやさん』
2冊の絵本原画をご紹介します。

かすや昌宏先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

18歳の6月23日。満天の星が輝く夜、
星のひかりに包まれて、恐ろしい程の
透明ないのちの響きを体感しました。
次の日から、街なかの画材店の2階の
アトリエに通い始めました。

画材は何を使っていたらいいですか？

透明水彩の表現が比較的に多いです。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘
話や思い出を教えてください。

「ありがとうサンタさん」

白内障が進行していたので、最初、
躊躇しました。連合いの渡洋子が背中
を押してくれました。送られてきた「絵
本のことば」は、内田麟太郎さんの素
晴らしい原稿でした。こういう方法（か
たち）で絵本を表現するのは初めてのこ
とでした。江戸時代の源氏物語の場面
の絵を指示する「絵詞」（えことば）のよ
うだと思いました。本当に楽しかった
です。この絵本の町のことや、人々の
こと、いろんなことを想像しました。
聖夜の前の日、ひかりを背に、路地か
ら現れた犬は、とても不思議です。



『てんしとくつやさん』本文3ページ

「てんしとくつやさん」

原作はトルストイが大層力を注いだ民
話文学「人はなんで生きるか」です。

多くの草稿が残っています。ぼくは、
この文学作品を絵本にしたいと先ずシ
ナリオから始めました。しかし、表層
の現象に囚われて説明の考えを付け足
して、どんどん「感じる」という大切
な世界から離れてしまいました。「考
えに囚われ症」の重症です。
頭のハッチを開いて、広い宇宙を泳い
でみたい気持ちになりました。一息つ
いて、また始めました。ぼくは、いつ
の間にか洞に住むフクロウになつてい
ました。絵本の奥付とおりです。

絵本をお作りになるときのこだわりは？
その時の自分が納得出来るかどうかで
す。

今後どのような絵本を描いていかれま
すか？

18歳のあの夜の、いのちの響きそのま
まに……。いのちの歎びを謳うことです。

ご趣味についてお聞かせください。

いろんなことを想うことです。

「葉山のカワセミを大切に想う会」は、
その内の一つです。海辺に住んでいた
頃から、もう30年です。

お好きな言葉を教えてください。

花が

野や 森や 庭の

どこに いても

それぞれに

美しく咲くように

人間の森で

みんなが それぞれに

それぞれの花を

美しく咲かせる

ことが出来れば

どんなに素敵だろう

これは昔からの、ぼくのことばです。

フアンの方へメッセージをお願い
します。

人生は本当に不思議です。ぼくは、素晴
らしい方々との出会いによって育まれ
てきました。みなさんも人生の出会い
を大切に自分だけの花を、美しく咲かせ
て下さい。

かすや昌宏先生、ありがとうございま
した。



かすや昌宏先生
サイン入りの絵本を
3名様にプレゼント！

応募方法 氏名、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。

あて先 〒939-0283 射水市鳥取50

射水市大島絵本館「かすや昌宏サイン本プレゼント係」

締め切り 平成23年1月20日 消印有効

※当選は発送をもって代えさせていただきます。



本文24ページ



本文20ページ

「ありがとうサンタさん」
(女子パウロ会)



嶋 明子

射水市大島絵本館 指導員

特集 / 絵本を贈る

絵本とともに届ける想い

「子どもにプレゼントしたいのだけど、どんな絵本がおすすですか？」
大島絵本館のシヨップでは、クリスマスシーズンが近づくとお客様からこんな質問をされることが多くなります。
両親からお子さんへ。祖父母からお孫さんへ。中には自分へのクリスマスプレゼントとして買っていられる方もいらっしゃると思います。

*

絵本といっても世の中には多種多様な絵本があり、絵本を購入するためのガイドブックも沢山出版されています。どれもこれも目を通してしていると、いったい何を買ったらよいのか、わからなくなることはありませんか。年齢の区分だけで絵本を決めることも難しく感じます。

私は、息子の1歳の誕生プレゼントに絵本を3冊選びました。その時、かなり悩みながら絵本を選びました。今まで、様々な絵本を知っているつもりでしたが、いざ選ぶとなるとプレゼントしたい絵本がいっぱいあるのになかなか決まりませんでした。

*

そこで、どの絵本が特に好きか、シヨップに考えてみることにしました。自分が好きな絵本、読むと楽しくなる

本はどういうものか。また、心に残った絵本にはどのようなものがあるのかを考えてみると、今まで悩んでいたものがすっきりと晴れてくる感じがしました。

絵本を読むと、心が揺さ振られる程の感動を覚えることがあります。そんなときに、絵本のタイトルを覚えておくことをお勧めします。いざ、誰かにプレゼントする機会があれば、自分の大好きな絵本の中から選べばいいのです。

*

買った絵本をすぐに気に入る方もいれば、時間が経ち、徐々にその絵本を好きになる方もいます。読まれないことを恐れずいつかきつと役立つと信じて贈りたいものです。

絵本選びに迷うのは、贈る相手のことをいろいろ考えているからこそです。相手がどんなものが好きか、何に興味があるのか。しかし、贈る側にとってそのひとときこそ、相手を思うとても幸せな時間なのかもしれません。

絵本を贈るあなたの気持ちや相手に伝わりやすいように。そして、素敵な絵本や幸せが、あなたのもとに届きますように。

Merry Christmas and Happy New Year!

私のおすすめ絵本

『つみきのいえ』

加藤久仁生/絵
平田研也/文
白泉社



お爺さんが住む家は、何層も積み上げられたつみきのような家。そこには、年月を一緒に過ごした家族の思い出がいっぱい。

『ものぐさじじいの来世』

小川未晴/作
高岡洋介/絵
深空社



人それぞれに人生あり。主人公のようにゆったり、のんびり暮らすのもいいのかも。雑念から解放され、心癒される絵本です。

『サンタのクリスマスハウス』

スザンナ・ロンチ/絵
金の星社



世界中からの手紙が飾られた屋根裏部屋。2階は玩具工房。1階にはトナカイやサンタクロースが。広げる驚き、細部まで楽しいしつけ絵本。



『ラヴ・ユー・フォーエバー』
ロバート・マンチ/作
乃木りか/訳 梅田俊作/絵
岩崎書店
永遠に受け継がれる親子の絆を描いた絵本。



『かいじゅうたちのいるところ』
モーリス・センダック/作
じんごうてるお/訳
富山房
マックスの不思議な旅が始まります。



『この街で』
新井満/文 黒井健/絵
PHP研究所
結婚時、私から主人に贈った思い出の1冊。



『あらしのよるに』シリーズ
木村裕一/作 あべ弘士/絵
講談社
2匹のあつい友情は何度読んでも泣けます。



『おおきな木がほしい』
佐藤さとる/文 村上勉/絵
偕成社
こんな木が庭にあったらすごいだろうな。